

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
東部教育局  
〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地  
東教発 R 4. 3. 1 No.172  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

## 義務教育9年間を見通した教科担任制の取組

鳥取市立末恒小学校 

末恒小学校では、中学校への円滑な接続や児童理解を深めるため、教科担任制を少しずつ取り入れています。国や県が小学校高学年からの教科担任制の導入を進めている中、単学級の3年生を除き、学級担任が教科を入れ替え、各学年の実態に合わせて取り組んでいます。今回はその交換授業から見てきたメリットを中心に紹介します。

### 交換授業のメリット

学級担任同士の交換授業のため、持ち時間数が減るわけではありませんが、教材研究が一方でよいことになり、じっくりと教材研究ができます。そのため、授業の質が向上し、45分の中でしっかりと児童に力をつけることができます。また、たくさんの児童と関わることで、学年の様子を把握できます。

### 課題をプラス思考で

- ①担当していない教科指導のスキルアップができない。  
若手教員にとっては、教科指導の経験が積めない。
- ②担当していない教科の宿題を決めるのに困る。
- ③懇談等で担当していない教科の様子を聞かれると答えにくい。



担当していない教科があることは当たり前と捉え、改善できるところに目を向けて取り組んでいます。

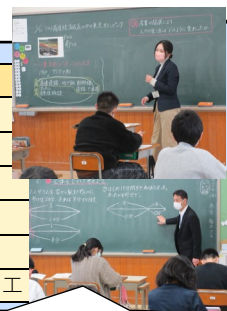


- ①担当教科の教材研究がしっかりでき、スキルアップをめざせる。
- ②教科担当者が学年で共通した宿題を設定でき、学年間で統一できる。
- ③懇談等で困らないように日頃から情報共有する習慣が生まれる。

### 取り組んでみた先生方からの声

- ・これまで以上に45分のタイムマネジメントを意識した授業ができる。
- ・放課後の時間にゆとりが生まれる。
- ・学習規律が統一できる。

交換授業	
1年生	音楽⇔図工
2年生	音楽⇔図工
3年生	※単学級のため交換授業なし
4年生	社会⇔理科
5年生	国語⇔算数、社会⇔理科
6年生	国語⇔算数、社会⇔理科、音楽⇔図工



### 【交換授業の様子】

教科担当が替わることに慣れ、落ち着いて学習に向かっています。

小学校の先生にとって多くの教科を交換することには不安があるかもしれませんが、プラス思考で捉えるとその良さが見えてきます。各学校の実態に応じて、専科指導にしたり、交換授業をしたりと、メリットを生かした教科担任制の取組に繋げていきましょう。

## ブレイクスルー

### 局長 長谷川 隆

今年に入り新型コロナウイルスのオミクロン株による感染が急速に拡大し、子どもたちや先生方の日常生活、学校の教育活動も大きな影響を受けました。そのような中、校長先生をはじめ学校関係者、各市町教育委員会の皆さんが、より一層の感染症対策に取り組まれつつ、年度末に向け教育活動を着実に進めてこられたご努力には本当に敬意を表します。

さて、今回の感染拡大に伴って休校あるいは濃厚接触者となった子どもたちへの対応として、自宅にタブレットを持ち帰り、ICTを活用した学習に取り組まれた学校が数多くあったとお聞きしています。もちろん一概にタブレット等を使えばよいということではなく、それぞれ学校の実情に合ったやり方で、効果的に学習に取り組まれていくことがまずは大切です。

ただ2年程前に全国一斉で臨時休校となった際、慌ただしく子どもたちへ休校を告げたときには、この後はどうなるのだろうと不安の方が強かったことを思い出します。それから短期間のうちに教育をめぐる環境や仕組みが未曾有のスピードで変化するとともに、先生方がその変化に適応し、子どもたちのためにより効果的な学習が進められている状況をまさに目の当たりにしてきました。

コロナ対応等では、本当に多くのご苦労があったことと思います。ただこの状況の中で変化をしっかりと受け止め、まずはやってみようというポジティブな取組や、制約の中で慣例にとらわれず目的を再構築した取組が、ブレイクスルーを起こしていく。将来的に見ればこういった経験こそが、まさに子どもたち、そして私たちにとって、これからの社会づくりのための貴重な学びの機会となっているのではないのでしょうか。

幼保小連携・接続

要録を使って育ちをつなげよう

3月には、新1年生の要録の写しが園から送付されます。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、園児と児童、教職員同士の交流、園と小学校の合同研修会など連携をとることが難しい状況でしたが、要録を使って園で育まれた資質・能力を知り、小学校での指導につなげましょう。

(保育に関する記録)とは別に、(入所に関する記録)があります。

園では、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)のねらいや内容に基づいて計画が立てられ、教育・保育が展開されています。



あそびきりん

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、5領域の活動全体を通して資質・能力が育まれている5歳児後半の具体的な姿です。

(様式の参考例)

**保育所児童保育要録(保育に関する記録)**

本資料は、就学に際して保育所と小学校(義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。)が子どもに関する情報を共有し、子どもの育ちを支えるための資料である。

保育の過程と子どもの育ちに関する事項		最終年度に至るまでの育ちに関する事項
<p>あそびきりん</p> <p>氏名</p> <p>生年月日</p> <p>性別</p> <p>ねらい (発達を促せる視点)</p> <p>健康 「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする」 「健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する」</p> <p>人間関係 「保育所の生活を楽しむ、自分の力で行動することの充実感を味わう」 「身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさや味わい、愛情や信頼感をもつ」 「社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける」</p> <p>環境 「身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ」 「身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に振り返り入れようとする」 「身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする」 「自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう」</p> <p>言葉 「人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験した事や考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう」 「日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる」</p> <p>表現 「いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ」 「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」</p> <p>現 「生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ」</p>		<p>(最終年度の重点)</p> <p>個人の重点 1年間を振り返って、その子どもの指導について特に重視してきた点。</p> <p>(個人の重点)</p> <p>(保育の展開と子どもの育ち)</p> <p>保育の展開と子どもの育ち 5領域のねらいを視点として、子どもの発達の実情から向上が著しいと思われること。</p> <p>(特に配慮すべき事項)</p>

これは、保育所の要録の様式の参考例です。園種や設置者によって様式が少し異なります。

育ちをつなげるポイント



あそびきりん

- ①一人一人のよさを受け止める  
その子どもが成長した姿がどのような環境や教師等の関わりによって現れたのかを知る。
- ②指導をつなぐ  
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれている資質・能力を捉え、指導をつなげる。
- ③交流を深める  
要録の写しの送付と併せて、日頃からの情報交換、子ども同士の交流、保育や授業の参観、合同研修会などで相互理解を進める。

「幼児理解に基づいた評価」より  
平成31年3月 文部科学省

**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**

※各項目の内容等については、別冊に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について」を参照すること。

健康な心と体
自立心
協調性
道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり
思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重
数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

小学校では、幼児期の教育で育まれた資質・能力をさらに伸ばしていくことや「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫が求められています。要録から一人一人の育ちを読み取り、幼児期に育まれた力を発揮しながら学びに向かっていく姿を認めたり、発揮する場面を設けたりしましょう。

動画で学ぼう！授業づくりのヒント ~東部教育局ホームページより~

東部教育局のホームページに『東部教育局動画サイト』を作りました。秋田県大館市教育研究所長による算数オリエンテーションをはじめ、東部のエキスパート教員の公開授業動画を、10分~30分程度のダイジェスト版にして掲載しています。授業づくりのヒントがたくさん見つかりますので、参考にしてください。

主な掲載動画

- \*動画は随時アップしていきます。
- \*エキスパート教員の動画は、学校教育支援サイトでも視聴できます。

○算数オリエンテーション

- ・鳥取市立中ノ郷小学校5年生を対象に行ったオンライン授業です。
- ・算数の授業の基本的なあり方について学べます。学習規律から学級経営まで、校種、教科を越えて学べる実践です。

○鳥取県東部エキスパート教員公開授業

- ・小学校：国語、社会、道徳、外国語活動、特別活動
  - ・中学校：道徳、外国語
- (3月1日現在)



動画へのアクセス

東部教育局ホームページ



リンクリスト  
東部通信  
学校等リンク集  
東部教育局  
動画サイト

\*torikyoのGアカウントでQRコードからも視聴可能。

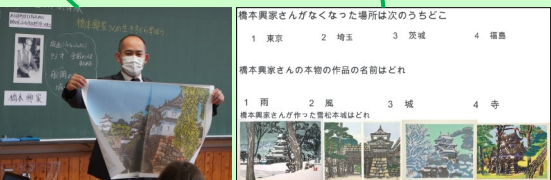
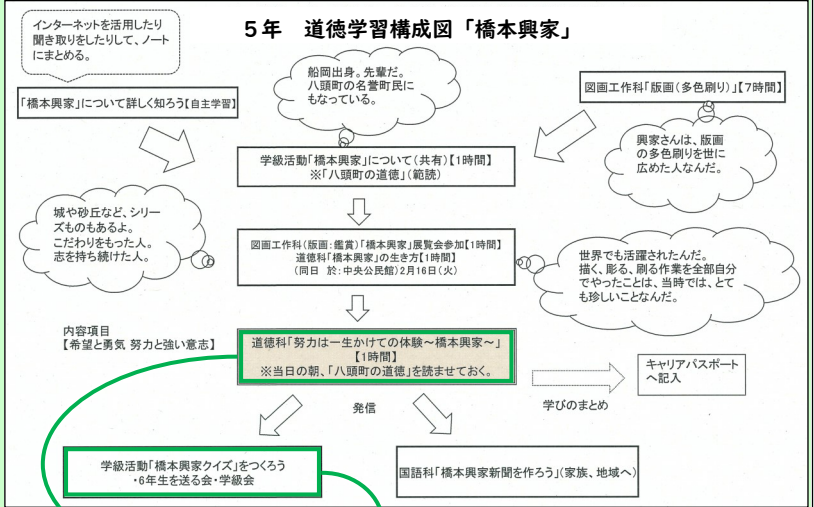




八頭町内の6校（郡家東小・郡家西小・船岡小・八東小・八頭中・八頭高）は、「ふるさとキャリア教育モデル事業」実施校として、ふるさとキャリア教育を基盤にした教育を推進しています。事業2年目の八頭町の取組を紹介します。

### 八頭町の偉人から学ぶ

八頭町内小中学校では、郷土の先人の生き方や知恵を学ぶを通して、子どもたちのふるさとを思う気持ちや将来への志を育むために、八頭町の偉人を教材化した道徳教材集「八頭町の道徳」を活用しています。これまでの取組を生かし、総合単元的に教材を扱うために、「道徳学習構成図」を作成し、国語科、図画工作科、学級活動など、他教科等との関連を図りながら、道徳科の充実を図っています。教材を通して八頭町の偉人と出会い、前向きな気持ちをもって物事に取り組んだり、つらいときや苦しい時たくましく乗り越えたりする子どもの育成を大切にしています。



〈道徳科の様子〉〈学級活動「橋本興家クイズ」をつくろう〉

学びをキャリア・パスポートに記録し、自分の変容や成長を振り返ることができるよう工夫しています。

### 縦と横のつながりを大切にした取組

八頭町では、小中高等学校で共通理解を図り、キャリア・パスポート構成表を小中学校9年間の計画から、小中高等学校12年間の系統的な取組に再整理しました。また、学校・家庭・地域と連携を図るとともに、人物に学ぶ道徳学習、学ぶことの意義にふれる学習等の共通実践を行っています。

**【小学校】伊藤真波さん**  
「あきらめない心」

パラリンピック競泳代表で、東京オリンピックの開会式でバイオリンを演奏した伊藤真波さんに、あきらめずに精いっぱい生きる大切さを教えていただきました。

小1	小2	小3	小4	小5	中1	中2	中3	高1	高2	高3
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

〈12年間のキャリア・パスポート構成表〉

**【小中学校】水本俊也さん**  
「世界から見た鳥取！郷土の魅力」

南極、ツバル、イースター島等、世界中で写真を撮影している八頭町出身の写真家、水本俊也さんに「興味をもったことは徹底的にすること」や「広い世界を見ることで鳥取のよさを再認識したこと」を教えていただきました。

**【中学校】職場見学学習 大江ノ郷自然牧場**  
「地域と共に 未来へ繋ぐ」

職場見学学習では、大江ノ郷自然牧場が地元の方々と協業し、未来へ繋ぐ持続可能な農業をめざしていることや、その実現に向けた取組を見聞きし、プレゼンテーション資料にまとめて友達に紹介しました。

小1	小2	小3	小4	小5	中1	中2	中3	高1	高2	高3
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

〈12年間のキャリア・パスポート構成表〉

**【高等学校】翠陵探究**  
「よりよい地域文化の創造」

今年度より学校設定科目「翠陵探究」を新設し、鳥取大学や地域の企業と連携し、地域課題等を探究する学習を行っています。SDGs11「住み続けられるまちづくりを」の課題を探究しているグループでは、こおげ建設を訪問し、会社の理念や取組について情報収集を行いました。

八頭町では、ふるさとに誇りと愛着をもち、自分らしい生き方を実現する子どもの育成に向けて、教科横断的な視点で学習を構成するとともに、縦と横のつながりを大切にしながら地域の人材を生かした取組が進められています。各学校において、ふるさとキャリア教育をすべての教育の基軸として捉え、教育活動全般で、地域の魅力を発見し将来にわたり自分の生き方を考える取組が推進されることを期待しています。